

## 市立奈良病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床試験を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名	Guillain-Barre 症候群における人工呼吸管理予測因子としての髄液中 IgG 抗 GD1b 抗体の妥当性
当院の研究責任者	所 属：救急・集中治療部 責任者：後藤 安宣
他の研究機関および各施設の研究責任者	奈良県総合医療センター 竹本 聖
本研究の目的	Guillain-Barre 症候群（以下、GBS）は、呼吸筋麻痺から人工呼吸管理が必要となることも少なくない疾患である。その重症化を早期に予測することは重要であるが、不明な点も多い。今回、GBS の補助診断に用いられている髄液中の抗ガングリオシド抗体と、人工呼吸管理との関連性について調査することを目的とする。
調査データの該当期間	2012 年 1 月～2017 年 12 月
本研究の対象及び方法（使用する試料等）	当院で入院加療を要したギラン・バレー症候群患者を対象とし、検討項目を Hugh functional grade（GBS 重症度分類）、EGRIS の評価とし、髄液中の抗ガングリオシド抗体との関連性について、電子カルテを用いて後方視的に検討する。
試料・情報の他の機関への提供	GBS の補助診断として髄液検査を近畿大学医学部神経内科へ検査を依頼
個人情報の取り扱い	後方視的研究であり患者個人への不利益は生じないと考えられる。
本研究の資金源（利益相反）	本研究に関連し、開示すべき利益相反はありません。
お問い合わせ先	TEL：0742-24-1251 担当者：後藤 安宣
備 考	